

# 筋力や柔軟性を評価

ダイヤ工業が新サービス

全国の接骨院に活用PR

医療用品メーカーのダイヤ工業（岡山市南区古新田）は、筋力や柔軟性などを10段階で評価して「運動器年齢」を判定するサービスを始めた。全国の接骨院に売り込み、患者へのトレーニング指導

2017.07.22(土) 山陽新聞 地方経済欄



や施術に活用してもらおう。日本整形外科学会などが実施する体力テスト

「長座体前屈」や、握力といった11項目のデータをを使って算出する。接骨院がインターネット経由で同社のシステムにアクセスし、患者の測定データを送ると自動で判定結果を返す。

サービスの利用料は月額3千円。測定に必要な器具も販売し、1万件の契約を目指す。ダイヤ工業は接骨院向けのコルセットやサポーターが主力製品。同社は「筋力や柔軟性を高めれば、腰痛や転倒事故を予防できる。接骨院に通う患者の健康な体づくりを生かしてほしい」としている。

（水野雅文）